

平成31年度
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団	
施 設 名	江東区江東公会堂 (ティアラこうとう)	
助 成 対 象 活 動 名	人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	6,830	(千円)
公 演 事 業	0	(千円)
人材養成事業	3,738	(千円)
普及啓発事業	3,092	(千円)

(3) 平成31年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	東京シティ・フィルによる 楽器の公開レッスン	2019年7月7日	講師：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団楽団員	目標値	40
		ティアラこうとう 会議室ほか		実績値	44
2	夏休み！オーケストラ & バレエ体験	2019年7月20日	出演：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京シティ・バレエ団	目標値	800
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	450
3	東京シティ・バレエ団 バレエ・コンサート Vol.5	2019年9月22日	出演者：又吉秀樹（オペラ歌手）、東京シティ・バレエ団	目標値	800
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	641
4	花岡詠二プレゼンツ KOTO ユースポップス & ジャズ フェスタ 2019	2019年11月10日	出演：花岡詠二、都立深川高等学校吹奏楽部ほか	目標値	950
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	554
5	日本のミュージカル！ 浪曲を聴いてみよう	2019年11月2日	出演：東家一太郎、東家美	目標値	80
		ティアラこうとう 小ホール		実績値	60
6	ティアラこうとうアウト リーチ・コンサート 区内 小学校プログラム	2019年5月22日 ～7月3日	出演：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京シティ・バレエ団	目標値	1300
		江東区内小学校		実績値	1715
7	ティアラこうとうアウト リーチ・コンサート 社 会包摂プログラム	2019年9月16日、 11月22日	出演：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京シティ・バレエ団	目標値	120
		特別養護老人ホーム ほか		実績値	300
8	春らんまん寄席	--	新型コロナウイルスのため中止	目標値	140
		--		実績値	--
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団は、「コミュニティの振興を図るとともに、文化の振興に関する事業を行うことによって、地域社会の発展と豊かな区民生活の形成に寄与する」ことをミッションとしている。

人材養成事業については、江東区芸術提携団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京シティ・バレエ団が、地域のこどもたちを直接指導する「ティアラこうとうジュニアオーケストラ」「ティアラ・ジュニアバレエ教室」を長年にわたって運営している。普及啓発事業では、ホールへの敷居を低くし、気軽に参加していただけるための企画を実施した。地域ににぎわいを創出する事業を行うことができた。

以上のとおり、当初提出した要望書との齟齬が生じることなく、計画的に実施することができ、ミッションを達成することができたと考えている。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

江東区は巨大マンション建設により、豊洲・有明地区を中心に人口が急増している。同時に、下町の人情あふれる地域性もあり、深川八幡まつりに代表される地域連携の土壌がある。事業を行うにあたってはこの2つの地域性を考慮し、地域コミュニティの活性化を図った。

人材養成事業においては、次世代育成事業を行い、将来の芸術文化の担い手を輩出するとともに、演奏会や発表会を廉価で行うことで多くの人に舞台芸術への関心を高める機会を提供することができた。

普及啓発事業では、無料あるいは低廉な価格でバレエやオーケストラを体験することができる企画や、アウトリーチ・コンサートとして区内の小学校や特別養護老人ホームに舞台芸術を届けることができ、芸術を媒介にして区民の豊かな生活に寄与することができた。

以上のことから、次世代の地域の中核劇場として、助成金を有効に活用し、地域の芸術、文化の発信拠点となることができた。

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

人材育成事業については(1) 団員数(2) 外部出演回数の目標値を設定していた。(1) 団員数については、ジュニアオーケストラ事業については73%の達成率、ジュニアバレエ教室については105%の達成率であったため、おおむね達成できたといえる。外部出演回数については目標を達成できなかった。外部からの依頼や、時期などの条件に左右されるため、仕方がない部分もあった。事業終了後のアンケートにおいては、総合評価で「満足」と答えた団員が70%を超え、講師の指導、受講料、学習環境などそれぞれの指標でも高い評価であった。

普及啓発事業では、各事業において申込者が前年度を上回ることで、入場者数を目標としていたが、事業によってかなりのばらつきが出た。目標を達成できなかった事業についてはPRや事業内容そのものを見直したい。アウトリーチ・コンサートの社会包摂プログラムについては、事前準備の段階で予想していた人数よりも、当日の参加者数が大幅に多く、手ごたえを感じた。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

全事業を通じて、ほぼ当初の計画通りに実施することができたが、2020年3月の事業は新型コロナウイルスの影響により中止となり、事業費の執行及び実施が予定通りに出来なかった。

期間の縮小、事業費の縮小…人材養成事業「ティアラこうとうジュニアオーケストラ」「ティアラ・ジュニアバレエ教室運営事業」、中止…普及啓発事業「春らんまん寄席」

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

江東区は、平成6年にプロのオーケストラである東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団とプロのバレエ団である東京シティ・バレエ団と芸術提携を結んだ。芸術提携の主旨は、音楽、舞踊における文化芸術を通じて江東区における文化芸術の振興・普及及び江東区民の自主的な創造文化活動の育成・発展に寄与することである。江東公会堂はこの芸術提携2団体とともに、区民に良質な芸術文化を発信するべく、劇場の機能をフルに活用し、さまざまな事業を展開している。

人材養成事業の「ジュニアオーケストラ」「ティアラ・ジュニアバレエ教室運営」において、両提携団体に所属するプロの講師陣の指導により、次世代を担うこどもたちの文化育成を行うことができた。江東公会堂は大・小ホールのほか、5つの練習室とリハーサル室、フルオーケストラの練習も可能な大会議室を持ち、全体合奏はもちろん、パート別、セクション別の分奏、初心者への個人レッスン等、様々な場面での指導が可能である。このきめ細かで幅広い指導を受けたこどもたちの発表の場である両ジュニア団体の公演事業を行い、地域の文化発信に貢献できたと考える。

普及啓発事業においても、「楽器の公開レッスン」では、一般成人に対しても、プロの指導を受けられるよう門戸を広げた事業展開を行った。これも多種多様な施設の機能を最大限に発揮することのできた事業の一つである。「アウトリーチ・コンサート」「夏休み！オーケストラ&バレエ体験」も両団体の協力のもとで実施した。

芸術提携団体以外にも、地元アーティストと区内中・高・大学生による協働事業「花岡詠二プレゼンツ KOTO ユースポップス&ジャズフェスタ」、地元の町会や自治会の方が多く参加してくださった「浪曲を聴いてみよう！」など、常に地域を意識した事業を行い、地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮することができた。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

江東公会堂芸術文化振興専門員会（2名）を設置し、江東公会堂の行う事業などにおいて専門的助言を得られる体制を確保している。

また、江東公会堂を所管する公益財団法人江東区文化コミュニティ財団は、文化センター等地域文化施設8館、歴史文化施設3館、商工情報センター及びティアラこうとうを含めて13施設を所管し、江東区から指定管理者として受託している。

江東公会堂には管理事務所長が常駐している。運営責任者が常に現場にいることによって、事業についても運営責任者が熟知することとなり、予算計上など将来の計画を立てる上で正しく判断してもらうことが出来ている。また、天災等における臨機応変な判断と区民への対応が可能になっている。

助成対象事業ではないが、「ティアラこうとう地域感謝祭」など地域に密着したイベントを企画し、地元の芸術家団体による発表の場も設けている。また、地域で活動しているアーティストの公演においてチケット販売協力を行う「協力事業」も実施している。

以上のことから、地域の情報を取り入れながら、地域に見 TTY 買うし、文化芸術の発展につなげることができている。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

江東公会堂を所管する公益財団法人江東区文化コミュニティ財団は、文化センター等地域文化施設 8 館、歴史文化施設 3 館、商工情報センター及びティアラこうとうを含めて 13 施設を所管し、江東区から指定管理者として受託している。職員数は常勤及び非常勤職員を合わせると合計 120 名を超える。このスケールメリットを最大限活用し、定期的な人事異動により人事交流を実施している。職層や経験年数に合わせ研修が行われるほか、職員全体での研修を不定期に実施している。また、職員の専門性をより高めるため、外部アートマネジメント研修会への参加や、研究大会への参加等積極的に取り組んでいる。

また、民の舞台芸術・劇場の愛好家を増やしコミュニティ活性化を図り H29 年度よりボランティア募集を開始した。主催の無料公演など該当事業数が限られるため今年度は新規募集せず、昨年度からの継続参加者で構成されている。

事業を通じて組織活動は安定的に持続的に行われている。